

生涯学習だより

主な記事

- ・厚真町スピードスケート記録会
- ・厚真の地下資源の歴史
- ・準要保護家庭対象高校入学準備金給付のご案内
- ・厚真町育英資金貸付のご案内
- ・読書感想文コンクール表彰式
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動報告

厚真町スピードスケート記録会



2月2日日曜日、厚真町民スケートリンクにおいて、第40回厚真町スピードスケート記録会が開催され、41人の小学生が参加しました。

前々日からの暖気の影響で日程を1日から2日に順延しての開催となりましたが、その分リンクコンディションは良好で、参加した児童は日ごろの練習の成果を出しきろうと自己の記録に懸命に挑戦しました。

入賞者の表彰では、満面の笑顔をみることができました。

出場選手の主な記録については、中面でご紹介していますので、ご覧ください。



↑ 力走する児童



← 表彰式の様子

歴史探訪

～石油が湧く町～ 厚真の地下資源

厚真町の大地は、今から約1,630万年前～520万年前の海底に堆積した泥や砂でできた岩盤の上に位置しています。厚真でもっとも古い地層は「トニカ層」と呼ばれ、富里の高丘入口となる厚真川と頗美宇（はびう）川の合流点にあり、道路の切り通しで見ることができます。

トニカ層の上には同じく海底に堆積した「振老層」があります。宇隆・東和と軽舞・豊丘の山の地下には、振老層が部分的に隆起してできたドーム構造（地下の山）があり、ここから石油が掘り出されてきました。古くは明治20年（1887年）ころから手掘り採掘が始まり、明治39年（1906年）には軽舞でアメリカの石油会社が地下550mから1日に約1,800Qの石油を汲み上げていました。その後、宇隆地区三毛内沢での採掘も本格化し、日本地図には厚真に油田記号「井」も記されていました。しかし、採算性がないことから、軽舞は昭和33年、宇隆では昭和42年に閉山となります。

その面影として、現在でも宇隆や軽舞・豊丘地区では石油が染み出しており、厚真町の知られざる地下資源の歴史を垣間見ることができるのです。軽舞遺跡調査整理事務所には、厚真町産の原油サンプルが保管されており、厚真油田の貴重な資料として見学者に紹介されています。



左：豊丘地区の石油湧出地点



中：豊丘地区の原油サンプル



右：昭和初期の日本石油厚工場真（提供：安平町 土の会）

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所をお持ちの方の子弟で、大学等に進学された方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
- (2) 高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
- (3) 専修学校専門課程（2年以上4年以内）
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円以内で1万円単位に希望する額

●利息 無利息

※本貸付制度のほかにも「近藤奨学金」「中村奨学金」「加賀谷厚三・明美奨学金」があり、これらは、育英資金の貸付制度の決定者から選考し、給付されません。

●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月月上旬に振込いたします。

- ・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）
 - ・早期貸付：初回貸付は6月中旬（4～6月分）
- ※早期貸付の場合で、前年（令和元年）の総所得金額が確定したことにより基準を満たさなくなった場合は、返還が必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間でご返済いただきます。

●提出書類

- ①申請書（教育委員会にあります）
- ②在学証明書
- ③成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）
- ④健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）
- ⑤課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

●申込期限

令和2年5月29日（金）まで
 （ただし、早期貸付（6月）を希望される場合は5月1日（金）までに申請してください）

●申込先 学校教育グループ

☎27-2494

1月定例教育委員会

1月31日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

心のサポート・防災教育推進協議会関係者打合せ会議、英語教育推進委員会第9回連携部会、町議会総務文教常任委員会所管事務調査（事務調査／①小中一貫教育の進捗状況について②アレルギー対応給食の状況について③郷土資料・埋蔵文化財の保管状況について、現地調査／軽舞遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校）、長門茂明さん（鹿沼）から1月15日、27日の2回、ニラ計21.1kgの寄贈（他3件）

◆議案

- ①文化財の指定について
- ②厚真町学校給食における食物アレルギー対応委員会設置要綱の廃止について

◆その他

- ①令和元年度胆振管内教育委員連絡協議会委員研修会について

★問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

準要保護世帯を対象とした 高校入学準備金給付のお知らせ

平成30年に「有限会社木本建設」様から町に対し多額の寄付があり、町ではこれを受け「厚真町木本建設教育振興基金」を設立しました。この基金の一部を、準要保護者として認定される世帯の子弟で高等学校に入学する際の学資金の一部として活用していただくため、入学準備金を給付します。

○対象となる方

準要保護者として認定されている方

○給付額

5万円

○給付時期

本年3月下旬に指定の口座に振り込みいたします

○その他

申請手続きは不要です

○お問い合わせ先

学校教育G ☎27-2494

がんばっています☆
町内小中学生

<スケート>

◆第6回全日本ノービススピードスケート競技大会 （2月14～16日 札幌市）

- 尾谷 駿文くん（厚真中2年）
中学男子 1,500m 1位／3,000m 2位
- 大捕 瑚々奈さん（上厚真小5年）
小学5年女子 500m 3位／1,000m 4位

◆第50回北海道中学校スケート大会（1月11～13日・釧路市）

- 尾谷 駿文くん（厚真中2年）
男子ダブル 5,000m 9位／3,000m 11位
- ※第40回全国中学校スケート大会に出場決定



第40回厚真町 スピードスケート記録会成績

成績（敬称略）

【小学男子】

- 《50㌢》 ▽1年①角地真大（中央）②小林優斗（中央）③小林朝飛（中央）④日向灯（中央）
《100㌢》 ▽1年①鎌田宗輔（中央）
《250㌢》 ▽2年①國本翔太（上厚真）
▽3年①寺坂絆（中央）②窪田翔太（中央）③大垣成示（中央）④橋場太一（中央）
《500㌢》 ▽2年①森山晃（中央）②大垣尚生（中央）③鈴木舜稀（上厚真）④前田泰知（中央）
⑤尾形優月（中央）
▽3年①青山陽太郎（中央）
▽4年①幅田雄心（中央）②土居友祐（中央）③堀田桜来（中央）④大久保倭（中央）
▽5年①大垣尊良（中央）②橋場凰太郎（中央）③龍崎大翔（中央）
▽6年①大宮幹丞（中央）
《1000㌢》 ▽5年①丸山陽凧（中央）
《2000㌢リレー》 ▽①中央小（橋場凰太郎・幅田雄心・大垣尊良・大宮幹丞）

【小学女子】

- 《50㌢》 ▽1年①佐々木絢美（中央）
《100㌢》 ▽3年①浅井実優（中央）
《250㌢》 ▽1年①森崎 稟（上厚真）
▽2年①幅田羚愛（中央）②中村心陽（中央）③中村夢歩（中央）④加勢愛理（中央）
⑤松岡紗歩（中央）
▽3年①中島榎音（中央）②三宅柚巴（中央）
《500㌢》 ▽3年①北島千聖（上厚真）②大宮暉子（中央）
▽5年①大捕瑚々奈（上厚真）②北島未聖（上厚真）③稲川帆乃花（上厚真）
④中島花奏（中央）
《1000㌢》 ▽5年①大捕瑚々奈（上厚真）②北島未聖（上厚真）③稲川帆乃花（上厚真）
《2000㌢リレー》 ▽①上厚真（北島未聖・北島千聖・稲川帆乃花・大捕瑚々奈）
▽②中央小（中島榎音・三宅柚巴・大宮暉子・中島花奏）

令和元年度読書感想文コンクール 表彰式

応募総数 232点

町内の小学生を対象に、冬休み期間中、本に親しみ、豊かな心を育むことを目的に毎年開催している『読書感想文コンクール』の表彰式が2月15日(土)に行われました。

今年度は町内2校の小学校から232作品が寄せられ、厳正な審査の結果、各学年から最優秀賞、優秀賞、優良賞の35点の入賞作品が決定し、大賞には厚真中央小学校6年生大宮幹丞さんの『奇跡の1本松』が選ばれました。

表彰式では、保護者や学校の先生たちが見守るなか、入賞者の表彰と大賞・各学年の最優秀賞作品の朗読が行われました。

学年	入賞区分	学校名	児童氏名
1年生	最優秀賞	厚真中央小	荒山 楓奈
	優秀賞	厚真中央小	鷹見 遙
	優良賞	厚真中央小	堀川 恭平
	〃	上厚真小	小向 桜
2年生	最優秀賞	厚真中央小	中村 夢歩
	優秀賞	厚真中央小	大垣 尚生
	優良賞	厚真中央小	飯田 結衣
	〃	厚真中央小	前田 泰知
	〃	上厚真小	國本 翔太
3年生	最優秀賞	厚真中央小	大宮 暉子
	優秀賞	上厚真小	石掛 希
	優良賞	厚真中央小	原 心々美
	〃	厚真中央小	佐藤 遥
	〃	厚真中央小	青山陽太郎
	〃	上厚真小	渡邊 聖涼
4年生	最優秀賞	上厚真小	清野 百花
	優秀賞	厚真中央小	當田 真康
	優良賞	厚真中央小	酒井 一成
	〃	厚真中央小	丸山さくら
	〃	上厚真小	岩間 咲映
5年生	最優秀賞	厚真中央小	松山 陽菜
	優秀賞	上厚真小	濱島 美月
	優良賞	厚真中央小	松岡 紗奈
	〃	厚真中央小	沼田 奏和
	〃	上厚真小	大捕瑚々奈
	〃	上厚真小	笠原 桜空
6年生	大賞	厚真中央小	大宮 幹丞
	優秀賞	厚真中央小	田居 優菜
	優良賞	厚真中央小	梶谷 怜矢
	〃	厚真中央小	土居 弥
	〃	上厚真小	折坂 結望
	〃	上厚真小	荒井 愛海
	〃	上厚真小	真野 薫

大賞作品 「奇跡の一本松」を読んで

厚真中央小学校 大宮 幹丞^{かんすけ}

皆さんは、奇跡の一本松を知っていますか。奇跡の一本松とは、岩手県陸前高田市にある7万本の松が、東日本大震災で津波に流された時に、たった1本残った松のことです。

ぼくは、『奇跡の一本松』という本を読んで、この松を後世に伝えようとした地元の人々の取組に感動しました。なぜなら、松の木を「神様が残してくれた奇跡の命だ。」と自分の子どものように、わらやよしずを巻いて体を温めたり、根っこから塩水を吸い上げて枯れないようにしたり、栄養のあるものをあげたりしていたからです。ぼくは、この松が被災したみんなに勇気を与えてくれる希望の松だからこそ優しくしてあげたのだと思います。

ぼくはこの本から、伝えていく事の大切さを学びました。ぼくも、大きな地震を経験しましたが、時間が経つとその恐ろしさや、地震に備えることの大切さを少しずつ忘れてきています。もしもの時のために、防災グッズを用意したり、みんなで助け合ったりすることの大切さを、地震の経験者として風化させないで伝えていかなければならないと考え直しました。

そこでぼくは、冬休みに陸前高田市へ行って、奇跡の一本松を見てきました。東日本大震災からはもう九年が経ちますが、一本松の周りには、まだ崩れかけた建物や折れてしまった松の木がありました。しかし、新しい堤防で囲まれた海岸で、一本松は堂々としていました。堤防の奥には、一本松の松ぼっくりから採取した種から育てた苗木が、たくさん植えられていました。その景色を見て、ぼくは、この松が十年、百年後にも津波の恐ろしさを伝えられるように大きくなってほしいと感じました。また、この松を見に全国各地からたくさんの人が来ていたので、地震や津波を体験したことのない人にも、一本松は東日本大震災のことを伝えてくれているのだと思いました。

去年の十二月に厚真中央小学校に福岡県春日市のNPO法人「星のふるさと」の方が来て、希望の松をプレゼントしてくださいました。代表の今村さんからは「希望をもって、明るく元気に生活してください。」と言ってもらいました。春になったら校庭に植樹をするので、大きく育ててほしいです。

これからぼく達は、陸前高田市の奇跡の一本松や中央小学校の希望の松と共に未来へ進んでいきたいです。そのためにも、厚真町の崩れてしまった山などの地震が残していったものを、積極的に見たり、復興の手伝いをしたりして、まず自分達が知ることをしていなくてはならないと思っています。そして、自分が大人になった時に、地震より後に産まれた子どもたちにも、自分が体験したことや学んだことを伝えられる

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

ご家庭に“アラカルト本棚”を

青少年センター図書室では、上厚真小学校向けに移動図書車による巡回を1年間で35回ほど行っています。15分の中休みの間に来てくれる子どもたちは、自分で読みたい本を選んで本を借りていきます。気に入った本を何回も借りていく子もいますし、「この本は面白くなかった」と正直な感想を聞かせてくれる子もいます。

学校図書室や公共図書館などにたくさんある本の中から、今どんな本を読みたいかを自分自身で分かっていて、自分で選ぶことができることは素晴らしいことだと思います。でも、自分の好みだけで本を選んでしまうと、どうしても同じ傾向の本を選んでしまいがちになり、「新しい発見」や“気づき”につながりにくくなってしまうという側面もあります。

そこで、図書室からのご提案です。4月からの新学期を機に、ご家庭に、家族向け「アラカルト本棚コーナー」を作って置いてみませんか？だれかから「これを読みなさい」と押し付けられた本はなかなか楽しめないものです。読書を無理強いしてしまうと、かえって読書嫌いになってしまう可能性があります。きちんとした本棚でなくてよいので、「アラカルト本棚コーナー」には自分が「面白そうだな」と思った本をジャンルに関係なく、ただ並べておきましょう。本屋さんのように表紙を飾ってみる(図書館業界では「面だし」といいます)のもいいですし、推薦POPをつけても楽しみが広がります。コーナーの中には大人が読む本を混ぜておくのも大事なコツです。「大人ってこんな難しい本を読んでいるんだ、いつかは自分も・・・」といった向上心を育むことにもつながるそうです。

統計的にも「親が本をよく読む家庭の子どもは、自然と本を読む」ということが報告されています。

読書は新しい発見や気づきを生み、自分の世界を広げてくれる素敵な活動です！「子どもにもっと本を読んでもほしい」と思っている大人の皆さん！子どもの前で読書を楽しみましょう。

しんいちねんせいの みなさんへ

しょうがっこうにはいると、としょしつで本がかりられる「としょカード」がもらえます。

カードをつかって、たくさんの本をたのしんでください☆

3月は道立図書館図書交換月です

3月は、道立図書館から借りている図書の交換を予定しています。

現在借りている道立図書館の所蔵本は、必ず貸出期限内に図書室まで返却してください。

◆青少年センター図書室

3月の休館日

20日(金曜日) 春分の日

■ 青少年センター図書室開館情報

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

■ 厚南会館図書室開館情報

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は閉館

3月のおはなしのびっこは26日(木) 10時から 青少年センター絵本コーナーです★

☆放課後子ども教室☆

今年度の活動も残すところあと1か月。6年生と過ごせる時間もわずかなことに気づくこの時期は、成長がうれしい反面、別れの寂しさを感じる毎日です。最後まで全力で子どもたちと向き合い、楽しい時間を過ごしたいと思います。

まるでこれまでの分を取り返すかのように降り積もった雪。待っていましたがばかりに雪遊びに出かける子どもたちの顔は、とてもイキイキとしていました。学校林や河川敷など、フカフカの雪が積もる斜面を見つけて尻すべり大会です。いかに速く、いかに長く滑り続けられるか、子どもたちは滑り方や、コースを熱心に研究していました。高学年になると、ソリをスノーボードに見立て、高度なテクニックを要する遊びに夢中になる子もいました。転んでも転んでも、何度も挑戦し、見事に滑り切ったときには満面の笑みでガッツポーズも飛び出しました。邪魔者扱いをされることも多い雪ですが、北海道の冬、雪遊びが出来る幸せがあることも感じる日々です。



冬のおやつ定番と言えば、お汁粉です。子ども教室では、毎年、冬休み明けのプログラムでお汁粉づくりをしています。白玉をお団子にしてゆで、^{あんこ}餡子やきな粉と一緒にいただきます。今年は町内の農家さんから小豆をわけていただき、手作りの^{あんこ}餡子を用意しました。日頃の活動の中に、地域の素材を取り入れることは、子どもたちにとって、新たな気づきやふるさと・厚真の良さを知るきっかけになります。特別教室だけではなく、平日の教室の中でも、子どもたちの身近にある地域資源を活用していきたいと思います。このほか、1・2月の活動は室内雪合戦や、カイロを作るミニ実験などを行いました。木炭と鉄粉、そこに塩水を加え、鉄が酸化する際に発する熱を体感する手作りカイロ。簡易的な実験なので、全員が大成功とはいきませんでした。見事カイロづくりに成功し暖かくなった子のカイロを借りて触ってみると「本当に暖かくなってる！」と驚いていました。こうした体験から身近な科学に興味・関心を持ち、好奇心の芽を伸ばしてくれることを願います。

